

西光寺だより

第二三五号 令和三年十一月一日発行

♪お知らせ♪

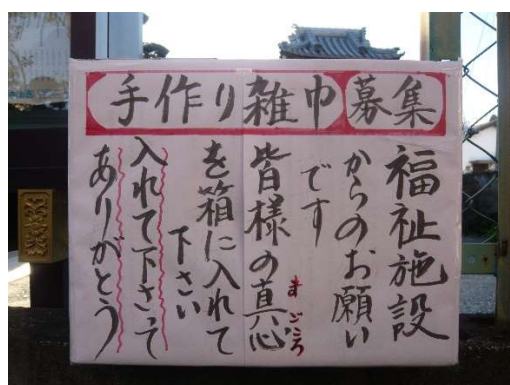
「手作り雑巾」募集

福祉施設では、毎日の清掃・消毒を施設の職員さん皆さんで行っています。コロナ禍の現在、全館塩素消毒を行い雑巾がすぐ傷んでしまうので、「もし雑巾を寄付してくださるのなら、本当に助かります。」とのお声が届き、仏教婦人会としてもお手伝いさせていただきたいと計画致しました。

「手作り雑巾・募集内容」

- ①雑巾を手作りしてください（新品のタオルで薄すぎないもの）
- ②手縫いでもミシンでも結構です。
- ③サイズは20cm×30cmですが、サイズは問いません。
- ④生地の色や糸の色も自由です。

十一月末までの募集で、寄付していただける方は西光寺正面掲示板の横に箱を設置してありますので入れていただけたら嬉しいですよ。どうぞよろしくお願い致します。



◆十一月・十二月の行事◆

十一月 二十三日 日（火・祝）

報恩講法要

午後二時～正信偈

午後三時～ご法話（一座）

西光寺本堂

十二月 三十一 日（金）

除夜の鐘

午後十一時五〇分～

※なお、感染症対策のため本堂でのお茶の接待はございませんのでご了承ください。

◆先月の報告◆

皆さんもご存じの蓮如上人。室町時代の浄土真宗の僧で、本願寺第八代のご住職であり、また、浄土真宗本願寺派におきまして、お逮夜・ご法事・ご法要・ご葬儀などで、必ず拝読される「御文章」を書かれた方でもあります。お経やお勤めなどは漢字で記されていますが、皆さんにもわかりやすいようにと、教義を仮名など用いてお手紙の形で分かりやすく説かれ、広められました。

その蓮如上人が私たちのいる西河原付近を通っておられたという歴史があったそうで、先月あるご門徒の方からご報告いただきました。

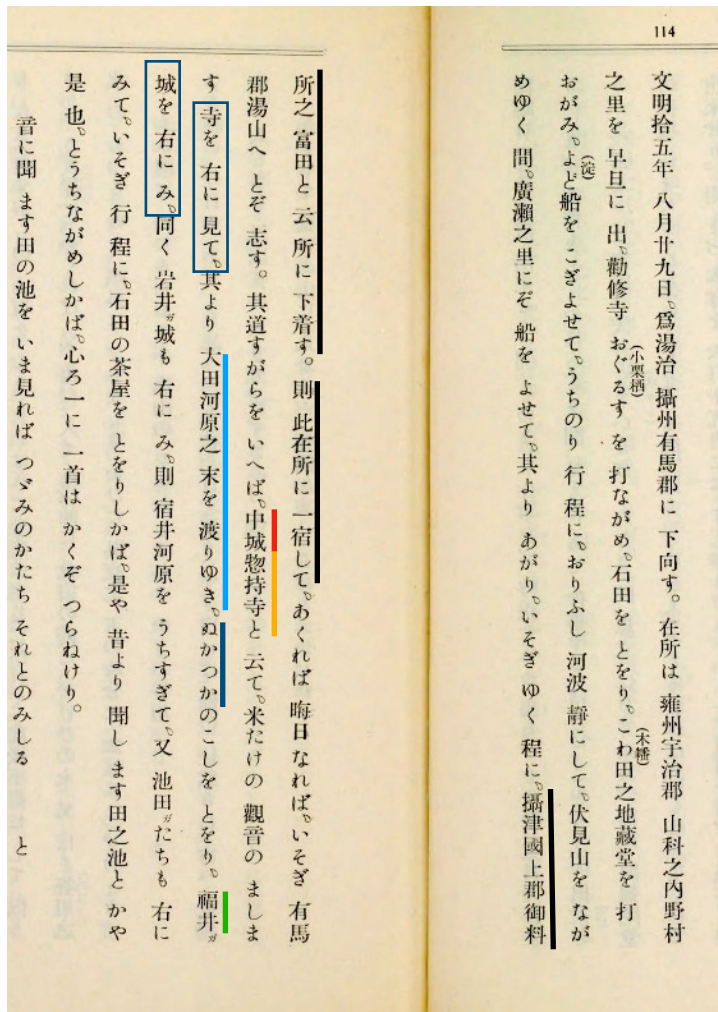
また、老坊守の実家である滋賀の本福寺。当時比叡山延暦寺の僧兵が蓮如上人を追い詰めようとしていた時に、その本福寺が助け、かくまっていたという歴史も重なり、深いご縁を感じたことであります。

普段なにげに歩いていたこの道が、ひよっとして蓮如上人が歩かれていたのかもしれないというなんとも不思議な歴史。

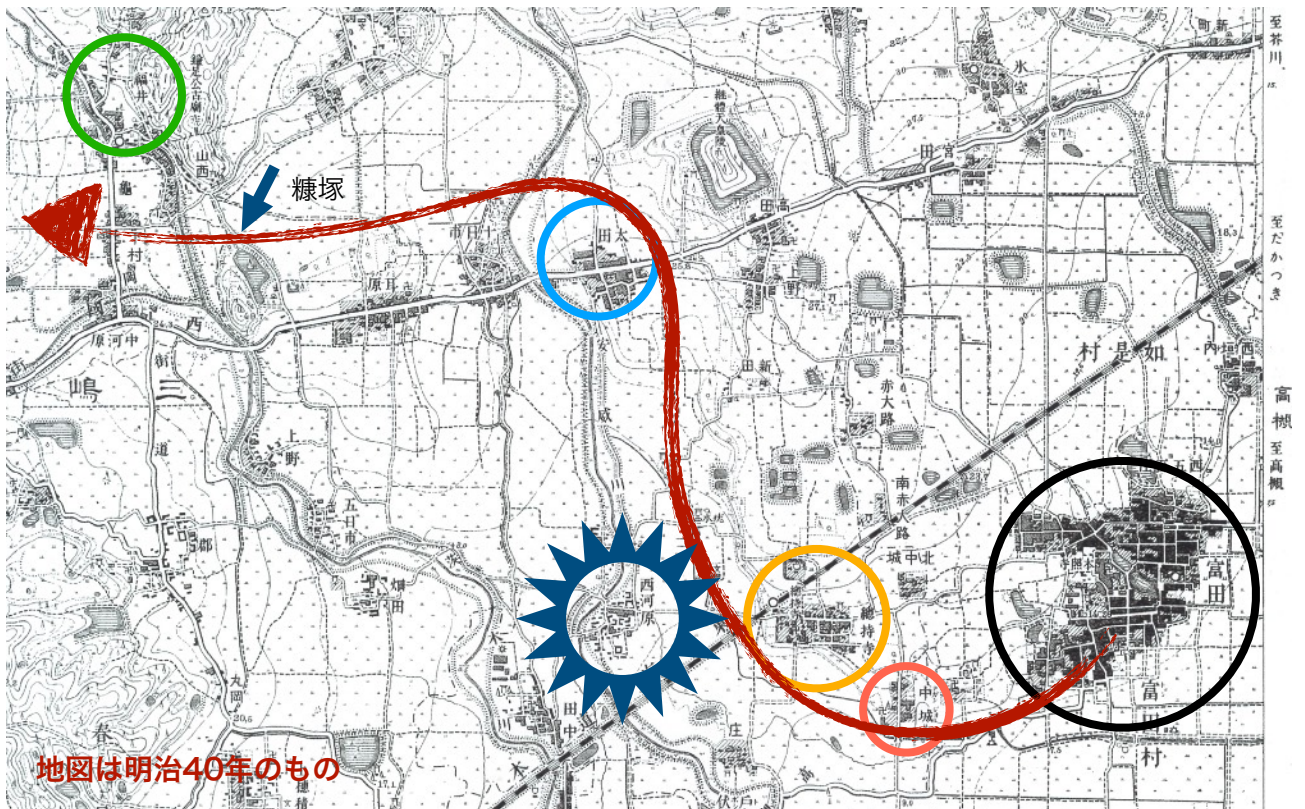
先人の歩まれたいのちの道を私たちも歩み、そして西河原のこの道も…。長い時代と歴史の中で、どんな道もいるんな人の歩みがあったことに気づかせていただいた事でありました。合掌 【糠塚跡の説明板にもあります】

蓮如上人の足跡 「蓮如上人遺文有馬道の記」より

文明十五年（1483）八月、山科本願寺が落成。大仕事を終えられた蓮如上人は骨休めに有馬温泉へと湯治に向かわれます。一日目は淀川の船路も含めて富田まで。富田で一泊。



二日目の朝、安威川を渡られるまでに、西河原のすぐ近くを通られています。中世では安威川・茨木川ともに築堤による河川管理はまだされておらず、道も江戸期に整備されたものと違っていました。しかし、地名と、どちら側にご覧になったかをつなぐと…



地図は明治40年のもの